

お茶の水女子大学学報

昭和 54 年 7 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人事	2
学事	3
諸報	6
海外渡航	6
名誉教授の称号授与について	6
「テレビ大学講座」受講生募集について	6
新任者住所	7
職員の住所変更	7
氏名変更	7
日誌(抄)	7

関係法令

【政 令】

○国家公務員共済組合法等による年金の額の改定に関する政令の一部を改正する政令(政令第188号、6月26日官報)

【告 示】

○教員の免許状授与の所要資格を得させるための聴講生の課程を認定した件(文部省告示第82号、5月14日官報)

学内規程

○お茶の水女子大学規則第5号

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和54年5月23日

お茶の水女子大学長 井上 茂

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学大学院規則の一部を次のように改正する。

第8条の表中

総定員	を	総定員	に改める。
46人		47人	
30人		30人	
17人		26人	
93人		103人	

第9条を第9条の2とし、同条の前に次の1条を加える。

(教育方法)

第9条 修士課程の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)によって行うものとする。

第10条中「指導教官」を「研究指導を担当する教官」に改める。

第13条を次のように改める。

(課程の修了要件)

第13条 修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

第32条中「(学位論文の作成等に対する指導をいう。以下同じ。)」を削る。

第38条の次に次の1条を加える。

(他の大学院等における研究指導)

第38条の2 研究科において教育研究上有益と認めるときは、他の大学の大学院又は研究所等と予め協議の上、学生が、当該他大学の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。

第50条中「第14条(単位の認定)」を「第9条(教育方法)、第14条(単位の認定)」に、「第16条中「研究科委員会」とあるのは」を「第9条及び第16条中「修士課程」とあるのは「博士課程」と、第16条中「研究科委員会」とあるのは」に改める。

附 則

この規則は、昭和54年5月23日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採用)			
54. 5. 1		原田英一郎	文部事務官(会計課)に採用する
〃		小川 超	文部教官(教授文教育学部)に採用する
〃		稲村ひろの	文部事務官(文教育学部附属中学校)に採用する
〃		古山 泉	文部教官(文教育学部附属高等学校教諭)に採用する
(昇任)			
54. 5. 1	文部事務官(会計課用度係用度主任)	三井田 勝	庶務課職員係長に昇任させる
〃	文部事務官(会計課)	加藤 健次	庶務課職員係職員主任に昇任させる
〃	〃	西村 光範	会計課用度係用度主任に昇任させる
54. 6. 1	文部教官(講師家政学部)	森田 明	助教教授家政学部に昇任させる
(配置換)			
54. 5. 1	文部事務官(庶務課職員係長)	菊池 昭夫	庶務課人事係長に配置換する
〃	文部事務官(文教育学部附属高等学校事務主任)	内野 公夫	会計課管財係長に配置換する
〃	文部事務官(庶務課人事係長)	岩崎 哲昌	学生課学生係長に配置換する
〃	文部事務官(会計課管財係長)	高橋 傳	文教育学部附属高等学校事務主任に配置換する
〃	文部事務官(理学部)	加藤 久雄	会計課に配置換する
〃	文部事務官(文教育学部附属小学校)	丹藤 勝次	文教育学部に配置換する
〃	文部事務官(文教育学部)	柿沢 秀春	理学部に配置換する
(併任)			
54. 6. 1	文部教官(教授 理学部)	柳田 為正	理学部附属臨海実験所長に併任する併任の期間は昭和56年4月1日までとする
(事務代理)			
54. 6. 17	文部教官(教授 家政学部)	藤巻 正生	家政学部長事務代理を命ずる
(辞職)			
54. 6. 30	文部技官(庶務課電話交換手)	塩田美恵子	辞職を承認する
(任用更新)			
54. 6. 4	文部教官(文教育学部附属小学校教諭)	瀧沢真砂子	臨時的任用を更新する 任期は昭和54年7月15日までとする

◎学内委員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
54. 6. 16	助 教 授	小川 剛	入試委員会委員を命ずる 任期は昭和55年3月31日までとする
〃	教 授	中内 敏夫	入試委員会委員を免する

◎非常勤講師

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採用)			
54. 5. 1		東畑 朝子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和54年9月30日までとする
(併任)			
54. 5. 1	東京大学教授	野村祐次郎	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和54年9月30日までとする
54. 6. 15	横浜国立大学助教授	千親 光幸	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	大阪大学教授	山田 安定	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和54年9月30日までとする

◎非常勤職員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採用)			
54. 5. 1		手代木美智子	臨時事務補佐員(附属図書館)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		矢沢 悦子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		杉 美穂子	〃
54. 5. 9		清水 和子	事務補佐員(文教育学部附属高等学校)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
54. 5. 16		船越美智子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
54. 5. 21		下田 加代	教務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和54年7月31日までとする
54. 6. 1		宮田 恵子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年9月31日までとする
(配置換)			
54. 6. 1	臨時教務補佐員(家政学部)	国吉 栄	教務補佐員(家政学部)に配置換する 任期は昭和55年3月30日までとする
(辞職)			
54. 5. 31	事務補佐員(文教育学部附属高等学校)	清水 和子	辞職を承認する
〃	教務補佐員(家政学部)	杉 美穂子	〃
54. 6. 30	技能補佐員(庶務課)	渡部みさ子	〃

学 事

○ 昭和55年度お茶の水女子大学大学院家政学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名及び募集人員

専 攻 名	募集人員
児 童 学 専 攻	8
食 物 学 専 攻	8
被 服 学 専 攻	8
家 庭 経 営 学 専 攻	6

2. 修 業 年 限 2年

3. 出 願 資 格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者（昭和55年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

4. 出 願 手 続

- (1) 入 学 願 書 用紙は本学で交付。
- (2) 卒業証明書または卒業見込証明書
- (3) 推 薦 書 指導教官または主任教官等により作製されたもの（形式随意 用紙はB5版縦長横書とする。）
- (4) 調 査 書 大学院修士課程入学者選抜実施要項に基づく調査書 用紙は本学で交付。
- (5) 健康診断証明書 用紙は本学で交付。
- (6) 写 真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさは名刺型。本学から交付する台紙にはる。
- (7) 受 験 許 可 書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料を添え所定の期日までに本学に提出のこと。

出願書類等郵送の場合は必ず書留郵便とし「大学院家政学研究科入学願書在中」と朱書すること。

検定料（12,000円）は定額小為替とし受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ記入し同封すること。

また、返信用封筒（あて先を表記し50円切手を貼付。）を同封のこと。

5. 選考期日・出願期日・願書受付場所

区分 専攻名	第 1 次 募 集		第 2 次 募 集		備 考
	選考期日	出 願 期 間	選考期日	出 願 期 間	
児童学専攻	昭和54年 10月11日(木)	昭和54年 9月21日(金)	昭和55年 2月1日(金)	昭和55年 1月16日(水)	各専攻で第1次募集の合格者が定員に満たない場合には第2次募集を行うことがある。
食物学専攻		昭和54年 9月28日(金)		昭和55年 1月22日(火)	
被服学専攻					
家庭経営学専攻					

(1) 郵送の場合は出願期間最終日の消印のあるものは受付ける。

(2) 受付時間 平日 午前9時～午前11時30分 午後1時～午後3時30分
 土曜日 午前9時～午前11時30分

- (3) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 TEL 03(943)3151 (大代表)
 本学家政学部事務部 (都バス大塚2丁目または地下鉄茗荷谷下車)

6. 日時割及び試験場所

(1) 学科試験・口述試験

専攻名		外国語 9.30~11.00	11.15~12.00	学科筆記試験 13.00~16.00	口述試験 16.10~
児童学専攻	被服科学を主とするもの 被服美学・被服構成学を主とするもの	第一外国語 (英・独・仏の内)	児(第一以外の外国語で外国語科目に入っているもの) ※第二外国語	(1)児童学(発達・保健・臨床・福祉・保育)	☆
食物学専攻				(2)論文	
被服学専攻				(1)一般化学 (2)栄養学・食品学・食品貯蔵学・調理学	
				(1)一般化学(無機・有機・物理化学) (2)被服材料学(繊維化学を含む)・被服整理学(染色化学を含む) (3)論文	
家庭経営学専攻		食・被・家経 (英・独・仏の内第一以外のもの)	(1)服飾美学(服飾史を含む)・被服構成学のいずれか1科目 (2)論文		(1)家政学原論・家庭経済学・家族関係学 (2)論文

※ 第二外国語の内容は専門に関連するもので受験に際しては辞書を携行して差支えない。

☆ 児童学専攻志願者は、口述試験の際に、学部卒業者は卒業研究または本人の研究成果を示すものを持参すること。

上記の選沢科目については出願の際届出のものとする。

(2) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

7. 検定料・入学料及び授業料 検定料 12,000円 入学料 80,000円 授業料(年間) 144,000円

8. 合格者発表

第1次募集で合格した者には昭和54年10月18日(木)、第2次募集を行った場合は昭和55年2月7日(木)頃本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

9. 健康診断

健康診断は健康診断書による。この診断書による検査の結果、本学において更に必要を認めた者に対しては診断を行う。

10. 注意事項

- (1) 出願書類等の請求または照会のあて先はすべて本学「家政学部事務部」とし返信用封筒(あて先を表記し50円切手を貼付)を同封すること。
- (2) 出願手続後の書類変更や検定料の払いもどしはできない。
- (3) 第2次募集実施の有無は第1次の合格発表と同時に発表する。

○ 昭和54年度お茶の水女子大学公開講座募集要項

1. 講座名 「東と西の文化」 お茶の水女子大学
2. 講座のねらい

現在、地球上では、様々な文化が共存し、それらの多様性を尊重することが、人類にとって重要であると考えられている。

そこで、当講座では、思想、教育、生活、文芸、芸術等多方面から東西文化の比較、検討を行い、それらを

通して日本文化の特質を浮き彫りにすることをねらいとしている。

3. 日程及び学習内容

実施日時	学習課題	学習方法	講師名
9月8日(土) 午後1:00~4:00	東と西の文化	講義	お茶の水女子大学長 井上 茂
	東西の自然観	〃	同教授 太田 次郎
9月22日(土) 午後1:00~5:00	学校教育	〃	同教授 森 隆夫
	世界観、人間観	〃	同教授 尾田 幸雄
9月29日(土) 午後1:00~5:00	教育風土、東と西	〃	同教授 河野 重男
	東の人、西の人	〃	同教授 田辺 義一
10月6日(土) 午後1:00~5:00	イスラム社会の奴隷と奴隷軍人	〃	同助教授 佐藤 次高
	ロマネスクの構造	〃	同教授 野島 秀勝
10月13日(土) 午後1:00~5:00	児童の教育	〃	同教授 津守 真
	児童文学	〃	同助教授 本田 和子
10月20日(土) 午後1:00~5:00	音楽東と西	〃	同助教授 高橋 大海
	食物の東と西	〃	同教授 藤巻 正生
10月27日(土) 午後1:00~5:00	小倉百人一首の世界	〃	同教授 犬 養廉
	中国と西洋	〃	同教授 佐藤 保
11月17日(土) 午後1:00~5:00	流行の東と西	〃	同助教授 板倉 寿郎
	東西の自然観と芸術	〃	同教授 柳 宗玄

4. 受講資格 社会人を対象とし、学歴、資格、性別を問いません。
5. 募集人員 70名
6. 受講料 1,500円
7. 会場 お茶の水女子大学 一般教育2号館
8. 申込方法 受講申込書並びに受講料を添えて、本学入学主幹付入学試験係にお申し込みください。
ただし、人数に制限がありますので、先着順で満員になり次第締め切ります。
(受付期間) 昭和54年8月20日~昭和54年8月31日、午前9時より午後3時まで、ただし土曜日は12時まで。(電話による申込はご遠慮ください。)

9. 大学所在地案内

文京区大塚2-1-1 TEL. (943) 3151 (代表)

地下鉄 丸の内線茗荷谷駅下車徒歩5分

有楽町線護国寺駅 〃 〃

国鉄 大塚駅から都営バス大塚駅前→大塚2丁目停留所前

〃 〃 池袋駅から都営バス池袋駅前→ 〃

諸 報

○ 海外渡航

所属・官職	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
理学部 助 教 授	能 村 堆 子	アメリカ合衆国	細胞運動に関するコールドスプリング、ハーバーシンポジウムにおける論文発表と研究交流のため	54. 5. 15 54. 5. 30	研 修
家政学部 教 授	藤 卷 正 生	大韓民国	招聘講演者として韓国食品科学工学会年次大会に出席	54. 5. 25 54. 5. 29	〃
文教育学部 教 授	藤 永 保	中華人民共和国 香・港	中華人民共和国の幼児教育及び発達心理学の研究動向の視察及び意見交換	54. 6. 4 54. 6. 20	〃
理学部 助 教 授	小 山 敏 子	カナダ	モントリオール大学に於いて開催される第18回国際数学セミナーでの講演、討論のため	54. 6. 10 54. 7. 11	〃
家政学部 教 授	津 守 真	オランダ王国 スウェーデン王国	スウェーデン、ルント大学において行動発達国際会議に出席し研究発表、及びオランダユトレヒト大学人間教育学研究所のラバース教授と研究討論	54. 6. 17 54. 7. 1	〃
文教育学部 助 教 授	内 藤 博 夫	中華人民共和国	中国西域学術調査	54. 6. 28 54. 7. 11	〃

○ 名誉教授の称号授与について

本年2月15日任期満了により退官された市古宙三氏及び4月1日停年により退官された柳沢澄子氏に本学名誉教授の称号が下記により授与された。

記

(授与年月日)	(氏 名)	(元官職)
54. 2. 28	市 古 宙 三	本学学長
54. 5. 23	柳 沢 澄 子	本学家政学部教授

○ 「テレビ大学講座」受講生募集について

国立放送教育開発センターでは、一般社会人等を対象とした「テレビ大学講座」を関東地域を対象に8月20日から日曜日を除き毎朝6時15分から7時までテレビ朝日を通じて放送することとしています。

なお、同センターでは、放送された講義の内容を深く理解できるようにするため通信又は面接の方法による学習指導を行うこととし、受講生を募集しています。

◇ 放送科目

(月) 人間の歴史	東京大学教授	木村尚三郎
(火) 社会生活と法	東京大学教授	伊藤 正己

(水) 英語 I	東京大学助教授	鈴木 博
(木) 教育と社会	お茶の水女子大学 教授	河野 重男
(金) 地域開発論	東京女子大学教授	伊藤 善市
(土) 哲学的人間学	放送教育開発セン ター所長	藤田 健治

受講生募集要領

- しめきり日 7月31日
- 申込方法
住所、氏名、年令、学歴、職業、希望科目、希望会場（面接指導科目希望者）を明記の上、郵便ハガキでお申込み下さい。
- 申込先
〒112 東京都文京区大塚3-29-1
放送教育開発センター TEL 03-945-3931
- 学習指導
放送期間中（月）（火）の科目は通信指導を、（水）（木）（金）の科目は面接指導を、（土）の科目は通信指導及び面接指導をそれぞれ2回実施
- 面接指導会場
埼玉会場（埼玉大学 浦和市下大久保255）

千葉会場 (千葉大学 千葉市弥生町1-33)
 東京第一会場 (東京学芸大学 小金井市貫井北
 町4-1-1)
 東京第二会場 (お茶の水女子大学 文京区大塚
 2-1-1)
 神奈川会場 (横浜国立大学 横浜市保土ヶ谷
 区常盤台156)

○ 新任者住所

○ 職員の住所変更

○ 氏名変更

小宮真理子 (家政学部被服学科技官)
 (旧姓 大橋)

日 誌 (抄)

- 5月2日 (水) 学生委員会
 5月7日 (月) 学生会館運営委員会、理学部計画委員会、臨時関東甲信越地区国立大学会計部課長会議 (於東京大学)
 5月8日 (火) 事務連絡会議、施設計画委員会、一般教育委員会、関東甲信越地区国立大学施設担当部課長会議 (於東京水産大学)
 5月9日 (水) 大学院人間文化研究科会議、院生協議会、国立7大学理学部事務長会議 (於金沢大学)
 5月10日 (木) 放射線障害防止健康診断、国立7大学理学部長会議 (10日、11日：於金沢大学)
 5月11日 (金) 学寮委員会
 5月14日 (月) 学生委員会、学生連絡協議会、入学試験委員会、附属学校運営委員会、臨海実験所運営委員会、生和会役員会、大学院奨学生選考会、文部省共済組合東京地区共同事業実施運営委員会 (於東京芸術大学)
 5月15日 (火) 部局長会議、概算要求連絡会
 5月16日 (水) 各学部教授会、昭和54年度国立大学附属図書館事務部課長会議 (於国立科学博物館)
 5月18日 (金) 文部省共済組合全国主管課長会議 (18日、19日：於竹橋会館)
 5月21日 (月) 昭和54年度国立大学事務局長会議 (於教育会館)、文書管理規程説明会
 5月22日 (火) 部局長会議、概算要求連絡会、学寮委員会、学寮協議会
 5月23日 (水) 評議会、定例学生大会
 5月24日 (木) 理学部計画委員会
 5月25日 (金) 予算委員会、学寮委員会、電子計算機室運営委員会
 5月28日 (月) 前期分授業料免除選考会

5月29日(火)	学部2年次以上奨学生選考会、昭和54年度国立大学学生部次長課長会議(29日、30日：於一橋講堂)	術センター)	
5月30日(水)	各学部教授会、国立大学入学主幹・入試担当課長会議(於東京医科歯科大学)	6月22日(金)	評議会、部局長会議、学寮委員会、国立大学協会事務連絡会(於教育会館)、第11回東京地区国公立大学入学主幹入試担当課長会議(於東京外国語大学)
5月31日(木)	昭和54年度国立大学会計部課長会議(31日、6月1日：於本学)	6月25日(月)	教職課程委員会、外国人留学生懇談会
6月1日(金)	学寮委員会、国立大学一般教育担当部局協議会定例総会(1日。2日：於高知大学)	6月27日(火)	学生委員会、学生連絡協議会、附属図書館運営委員会、昭和54年度留学生交流研究協議会(27日・28日：於東北大学)
6月4日(月)	昭和54年度国立大学施設担当部課長会議(4日・5日：於東京国立科学博物館)第68回東京地区国公立大学厚生補導部課長会議(於東京水産大学)	6月29日(金)	学寮委員会、学寮協議会、教務委員会
6月5日(火)	入学試験委員会、院生会定例総会	6月30日(土)	留学生顧問教官会議
6月6日(水)	学寮委員会、大学院人間文化研究科会議、人間文化研究科棟開館式、昭和54年度国立大学庶務部課長会議(6日・7日：於一橋講堂)		
6月7日(木)	理学部計画委員会		
6月8日(金)	入学試験委員会小委員会		
6月9日(土)	第27回東京地区国公立大学体育大会開会式(於東京農工大学)		
6月11日(月)	学寮委員会、附属学校運営委員会		
6月12日(火)	部局長会議、概算要求連絡会、一般教育委員会、名誉教授称号授与式		
6月13日(水)	各学部教授会		
6月14日(木)	学部1年次奨学生選考会、昭和54年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会(於第一生命ホール)、教育實際指導研究会(14日・15日：於本学附属小学校)		
6月15日(金)	事務連絡会議		
6月16日(土)	理学部計画委員会		
6月17日(日)	第27回東京地区国公立大学体育大会(17日・24日：於東京農工大学)		
6月18日(月)	入学試験委員会、臨海実験所運営委員会		
6月19日(火)	教務委員会、一般教育委員会、国立大学協会総会(19日・20日：教育会館)		
6月20日(水)	理学部計画委員会		
6月21日(木)	昭和54年度国立大学長会議(於教育会館)、第26回国立大学図書館協議会総会(21日・22日：於大阪科学技		